

治安維持法

と現代 2019
秋季号



西田信春顕彰碑（新十津川・西田信春小公園）

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

同盟の出版案内



治安維持法の時代を学ぶビデオ（26分）

燃やし続けた炎

多喜二を山宣を虐殺し数十万人を弾圧した治安維持法、全アジアに侵略をすすめた天皇専制の「神の国」時代の生々しい実態を告発…。各地の犠牲者を訪ね、戦前のフィルムを多用してたどる感動のビデオ。家庭や集会の学習に最適。

VHS、DVD 各1,000円（送料共）
企画・制作 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

機関紙「不屈」合本（1）～（9） 各巻2,000円

1967年創刊号から今日までの同盟機関紙『不屈』を8分冊に全収録。同盟活動の理念、理論、運動の全蓄積の合本。

治安維持法と現代 1,000円

治安維持法の時代と現代を結ぶ総合誌。年2回春秋刊。同盟運動を進めるための理論学習誌。バックナンバーあり。

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな 800円

治安維持法による弾圧と侵略戦争の実態を告発。戦後政治のもとでいまでも生きている治安維持法を、この一冊に凝縮。資料・治安維持法、思想犯保護観察法など18項目を収録。

いまでも生きている治安維持法 500円

戦前の亡霊をよみがえさせた春日違憲質問、戦後の公安警察、朝鮮戦争とレッド・ページ、破防法施行など戦後反動を告発。

戦前、戦争に反対した抵抗の群像 〈好評発売中〉

抵抗の群像 第1集、第2集とも各1,500円

本書に紹介された記録は、日本の侵略戦争と治安維持法下で平和と民主主義を求めて命がけでたたかってきた青春の群像で、全国各地の同盟による草の根からの顕彰活動によるものです。その一つひとつが、再び戦争と暗黒政治を許さない歴史の証言となることを願っています。

編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟



朝鮮―三・一独立運動100周年 日本で隠された朝鮮侵略の歴史

中塚 明 5

論壇 参議院議員選挙後の憲法をめぐる情勢

金子 勝 13

「今日の日米同盟」についての考察

小泉 親司 20

時代を切り拓いてきた女性たちのバトンを引き継ぎ

民主主義と自由の未来へ、ともに歩みを

広井 暢子 29

ゾルゲ事件はどのように裁かれたか

―治安維持法の適用と国防保安法による死刑判決―

荻野 富士夫 39

ドイツ国家に抵抗した軍人の名誉回復にふれて

児玉 健次 42

学問・教育・芸術・芸能への弾圧

治安維持法と近藤忠義先生のこと

塩谷 郁夫 46

治安維持法下の津田青楓と画「犠牲者」

小木 宏 52

禁演落語と国策落語 ―治安維持法下の芸能

柏木 新 58

エッセイ・同盟文芸

伊藤千代子「地しぼりの花」に寄せて

池添 智恵子 64

「高みの見物」と反戦の信念 ―加藤周一生誕100年に寄せて

北村 隆志 66

『生きてゐる兵隊』を読む娘さん

古澤 夕紀子 72

犠牲者はいま

最高齢者 小林末夫さんに聞く

中元 輝夫 77

小林末夫さんを語る

小松 美紀江 80

犠牲者を追って

北海道・「生活凶画事件」調査ノート

川嶋 均 84

治安維持法下の闘いと抵抗の群像

俳句弾圧と秋田県の『蠅座』事件

最上 建造 93

スパイを使い「戦旗」読者会を共産党支部にでっち上げた

樺太戦旗読者協議会事件

宮田 汎 101

ある治安維持法犠牲者と大石誠之助の名誉回復運動

上山 慧 115

わが郷土の顕彰活動

布施辰治と生誕の地での顕彰活動

原 伸雄 123

「亀戸事件」の証言者・全虎岩（日本名・立花春吉）の生涯と顕彰運動

杉本 英雄 131

「再び戦争と暗黒政治を許すな」の

同盟スローガンはいつ誕生したのか

牛山 靖夫

137

学び行動する長野県同盟44回総会

——生きいきと楽しく「行動」を通して「生きざま」を後世へ

竹村 利幸

141

学習し、行動する同盟へ 『飯島喜美の不屈の青春』を発行して

小松 実

146

◎読者交流のひろば

資料紹介

ドイツ包括的名誉回復法

翻訳・伊坂 青司

155

『西田信春——よみがえ甦る死』 出版趣意書

156

—— 表紙カット

岡部哲郎 (埼玉県)

—— 記事中カット

「生活凶画事件」犠牲者 松本五郎・菱谷良一

橋本節男 (大阪府・関西勤労協「保存会」)

藤沢信子 (広島県)

朝鮮——三・一独立運動100周年

日本で隠された朝鮮侵略の歴史

中塚 明

はじめに、「110年目の名誉回復」!!

2004年、韓国の国会で「東学農民革命参与者等の名誉回復に関する特別法」が成立しました。日本の植民地支配の35年、そして解放後も軍事独裁の時代が続いたため、東学農民の決起は、長い間、歴史の闇に葬られてきました。しかし、1980年代の韓国民主化闘争の結果、長らく「乱民」とされてきた東学農民戦争の参加者の名誉が回復されたのです。

1894年の蜂起以来、110年目の名誉回復でした。これは日本での私たちの治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の運動にも大きな励ましとなる歴史的な成



中塚明氏